

一粒耕心

圃場に適した品種の栽培で 高品質な『白神ねぎ』の生産に励む

就農のきっかけ

能代市築法師に住む山谷真さん。以前は自動車関連の仕事をしていましたが、平成23年から本格的に就農しました。就農してからは毎

年規模拡大を図っており、それまではねぎ、水稲、フキであった栽培形態も、きゃべつや大豆も手掛けるようになり、地域農業振興に尽力しています。



能代市朴瀬字築法師
山谷 真さん

J A あきた白神の主力作物である「白神ねぎ」。県内では生産額の7〜8割を占めており、春ねぎ、夏ねぎ、秋冬ねぎ、雪中ねぎとほぼ周年で栽培されています。白神山地の恩恵をいっぱいを受けた「白神ねぎ」は、太くて、軟らかく、とろけるような味わいでありながら、シャキシャキした歯ごたえが特徴で、これからの時期、鍋物にはぴったりです。

栽培へのこだわり

現在、山谷さんの圃場では「夏扇パワー」、「関羽一本太」、「源翠」の3品種のねぎを栽培しています。「源翠」という品種は昨年から試験的な栽培を始めており、山谷さんは「J Aからの勧めで栽培をしてみたが、収量性、秀品率もいいので今後作付面積を増やす計画を立てている」と話します。

また、目揃会や講習会等には積極的に参加しており、栽培技術の向上に余念がありません。種苗交換会にも毎年出品しており、今年は3等賞でしたが、過去には1等賞を受賞した経験もあり、高品質な「白神ねぎ」を出荷している生産者の一人です。

今後に向けて

連作障害を防ぐために、ねぎ、きゃべつ、大豆の輪作をしている

山谷さん。「ねぎの栽培面積を増やすだけでなく、低コストで栽培ができる加工用きゃべつにも力を入れていきたい」と話します。今後の目標について何うと「100点満点のねぎを毎回出すのは難しいが、それに近いねぎを出荷できるよう努力していきたい」と山谷さんは力強く話してくれました。



↑ 困いねぎの準備を行う山谷さん

経営規模	
ねぎ	2
水稲	1
きゃべつ	1
フキ	8
大豆	60
	a a h a h a h a